

## 議会議員全員協議会 発言要旨

日 時：令和3年6月9日 14時30分から

場 所：六ヶ所村役場4階 議場

案 件：新庁舎建設基本構想（案）の検討状況について

出席者：村長、副村長、教育長、総務課長、総務課課長補佐 ほか

内 容：総務課長から説明後、次の意見等に対して対応した。

議員：敷地面積 30,000 m<sup>2</sup>の根拠は？消防署併設を想定した面積か？

課長：職員人数を換算し、庁舎の床面積や駐車場面積等により求めた。消防設備の併設については候補地決定後の検討になるが、併設となった場合でも建設可能な面積として 30,000 m<sup>2</sup>としている。

議員：11 ページの工事費についてAのみに解体費用を計上するのか？他の候補地についても将来的に必要なことを明記すべきではないか？

課長：候補地Aについては建築工事と同時に解体が必要となるため計上した

議員：候補地Dの土地所有者の利害関係者が検討委員となっている。事前に事務局で確認すべきではないか。（回答は求めない）

議員：北地区の第二期工事は無くなったのか？

課長：都市計画マスタープランでは北地区の北側ではなく中央部（南側）に開発を進めるとなっている。

議員：ろっかぼっか（候補地F）の一部はUPZに入っているのに6点になっている。備蓄（候補地G）も6点になるのではないか？

課長：ろっかぼっかについては東通UPZから外れているため6点としている

議員：スケジュールがタイトすぎではないか？新聞には村長が「スケジュールにしばられない」と発言している。スケジュールありきではなくじっくりとやるべき。

課長：基本構想（案）の策定については外部委員会に諮問しており、今回示したスケジュールは委員会の立場に立った事務局案となっている。

議員：北地区 2 期工事は今現在は当時と違って構想から外れたのか？

村長：都市計画上市街化調整区域だったものを市街化区域に変更したものだったが、手元に資料が無いので後ほど回答したい。

議員：UPZ の範囲から候補地 F・G は一部外れる。候補地 G が 0 点なら F も 0 点ではないのか。検討委員会で検討してほしい。

議員：スケジュールは案ということでよいか。

村長：スケジュールは外部委員会に対しての事務局案である。重要な計画のため、期限を設定する考えはない。外部委員会で議論評価していただき、時間をかけて取り組んでいきたい。

議員：放射線防護については全ての候補地にかかってくる。UPZ 圏外に対策本部を設置するなど対策すればよい。

議員：災害を想定するのであれば消防施設は併設しないほうがいいのではないか。また、仮に候補地 F に決まり消防署を移転させるのであれば、将来の財政を考え南分署との統合を考えるべきである。

議員：解体費は他の候補地でもかかるもので、候補地 A だけに計上するのはおかしい。ここにのせるべきではない。

ろっかぼっか（候補地 F）になった場合、新納屋地区や鷹架地区に昔住んでいた方々にどうやって説明するのか。

尾駮コミュニティーセンターの場所が新庁舎の場所として最適だった。その時期には新庁舎の計画もあったはず。もっと早く計画をたてておくべき。（答弁は求めない）

議員：町村合併が始まった時に北地区を核としてまちづくりを行うとしていた。尾駮周辺に役場ができなければならないと思う。現庁舎の周辺は金融機関などの施設が建っている。尾駮から移転した場合跡地がどういう姿になるか心配だ。現庁舎は解体せずに民間業者が使ってほしい。

議員：役場は村の中央に無くてはならない。津波対策が必要なのであればそれを前提に庁舎の構造を考えればよい。北に建ててほしいが東通 UPZ に近くなってしまう。泊から六旬館は遠い。

課長：浸水区域に建てている自治体もある。候補地に関しては外部委員会に諮問しているため答申を受けた案を議会、住民の意見を聞いて村長が最終的に決める。今回出た意見については外部委員会で報告します。

議員：現庁舎は市街地が形成されている。浸水については対策を行えば問題にならない。現庁舎の敷地で用地が足りないのであれば買収等行えばいい。

議員：議事録等を逐一公開してほしい。

課長：資料や議事録をホームページで公開しているが今後は議会に配布等のやり方を考えておきます。